

平成 24 年度最高裁判所総合評価審査委員会（第 1 回） 議事概要

開催日及び場所	平成 24 年 4 月 24 日（火） 最高裁判所公平審理室
委 員	委員長 深 尾 精 一（首都大学東京都市環境学部教授） 委員長代理 浦 江 真 人（東洋大学理工学部准教授） 委 員 伊 室 亜希子（明治学院大学法学部教授） 河 上 雅 彦（経理局営繕課首席技官） 苅 住 眞（同 次席技官）
委員からの意見・質問及びそれに対する回答等	別添のとおり

(別添)

1 平成23年度総合評価方式による発注状況について

(1) 平成23年度工事発注状況について説明

(2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

入札辞退が増えているのは、総合評価方式を見直した影響か。

【事務局】

監理技術者を専任としているため、他の入札の結果、辞退する社が多いものと考えられる。

【委員】

震災復興工事が増えていることも関係しているのか。

【事務局】

まだ、そういう影響はないと思う。

【委員】

入札保証金不足のために無効になる、というのはよくあることなのか。

【事務局】

初めてのケースである。事前に保証金を積み増せばよかったのであるが、参加者が手続きを怠ったためである。

【委員】

低入札の応札者について、結果としてヒアリングを行う前に辞退しているのは、施工体制を確認されると落札が難しいと判断して辞退しているのか。

【事務局】

ヒアリングに際して、万全な資料を提出することが困難であると認識したのではないと思われる。

2 平成24年度総合評価方式の実施方針について

(1) 総合評価方式の一部見直し等について説明

(2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

技術評価点を40点から30点に下げたのは、評価基準を細かくしたためか。

【事務局】

10点刻みを5点刻みとして、6段階から7段階に改めた。5点刻みで40点にすると9段階としなければならない、評価が難しい。

【委員】

施工体制確認型を導入して、低入札対策の効果は現れていると考えてよいのか。

【事務局】

結果としては、効果が出ていると考えている。

【委員】

施工体制確認型で低入札の場合、施工体制確認することが○か×かの審査のようになっていないか。

【事務局】

簡易型であるが、低入札であった会社が資料を出して施工体制ヒアリングを行い、施工体制評価点を付けた実例があり、施工体制確認が一概に審査になっているわけではない。

3 平成24年度総合評価審査委員会の審査対象工事の抽出について

- (1) 審査対象工事の抽出について説明
- (2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

広島高裁松江支部・松江地家簡裁庁舎新営建築工事，同電気設備工事，同機械設備工事，広島高地簡裁庁舎耐震改修工事の4件を本委員会の審査対象工事とする。

4 広島高裁松江支部・松江地家簡裁庁舎新営工事の概要について

- (1) 敷地状況，建物概要について説明
- (2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

北東隅のL字型の敷地は財務局に引継ぎというのは，取られるということなのか。

【事務局】

土地の有効利用ということで，財務省へ引継ぐ土地になっている。

【委員】

気象条件などの特徴はあるか。

【事務局】

年間の降水量は，東京に比べて年間300mm以上多く，特に冬場が多い。雪は太平洋側に比べれば積雪はあるが，北陸地方に比べると少ない。

【委員】

アルミルーバー部の雪は下部に落ちるのか，屋根のように流れるのか。

【事務局】

下部に落ちる。

5 広島高裁松江支部・松江地家簡裁庁舎新営建築工事の総合評価について

- (1) 当該工事の評価項目（①技術提案「建物内部への漏水防止対策に関する提案」，②工事全般の施工計画「敷地周辺への配慮に関する提案」）について説明
- (2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

提案の範囲には、パラペットの外側のガラス部分も「建具工事」に含まれているのか。

【事務局】

建物にサッシとして付いているもの、カーテンウォールも含めて建具と考えている。

【委員】

応札者の取り方が違うと不公平になるので、提案の範囲の書き方は明確にした方がよい。

【事務局】

意見を踏まえて、修正する。

6 広島高裁松江支部・松江地家簡裁庁舎新営電気設備工事の総合評価について

(1) 当該工事の評価項目（①技術提案「建物内部及び外構部における、配管・配線工事全般の品質確保に関する技術提案」、②工事全般の施工計画「工事の進捗度に応じた適切かつ効率的な品質管理を行うための提案」）について説明

(2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

「耐震性能の確保にも配慮した」というのは、どのへんまで耐震性を求めるのか。耐震性に限定する趣旨ではないと思われる。

【事務局】

耐震性に限定していない。耐震性能を意識した提案も出してもらいたい、という意味である。

【委員】

提案者側が、耐震性関係以外を出してはいけないのか、と誤解すると不利になる。

【事務局】

意見を踏まえて、修正する。

7 広島高裁松江支部・松江地家簡裁庁舎新営機械設備工事の総合評価について

(1) 当該工事の評価項目（①技術提案「ダクト、配管及び天井設置機器・器具の耐震性能向上に関する提案」、②工事全般の施工計画「総合試運転調整及び測定を適切、かつ、効率的に実施するための具体的な提案」）について説明

(2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

耐震性の向上を求めるのであれば、そういう設計をしておくべきではないか。技術提案で求めるのはそぐわないのではないかと思う。

【委員】

重要な書類の上部の配管は漏水させない、吹抜けなど天井が高い場合には天井を含

めて落下しないような特段の措置を講じておく、というのがこれからの設計のあり方かと思う。

【委員】

建築工事と設備工事が絡む工事になるので、事前にどれが有効と認めるのか、判断基準を検討しておいて欲しい。

8 広島高地簡裁庁舎耐震改修工事の工事概要について

(1) 敷地の状況、工事概要及び改修方法等について説明

(2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

東西棟は、新耐震以降の建物なのか。

【事務局】

昭和56年以降の建物である。

【委員】

3階のRCの壁を新設する下階は耐震壁になっていないのか。

【事務局】

1階も2階も既存のRCの壁がある。

9 広島高地簡裁庁舎耐震改修工事の総合評価について

(1) 当該工事の評価項目（①技術提案「コンクリートの品質向上に関する提案」、②工事全般の施工計画「工事中の騒音・振動・埃防止対策に関する提案」）について説明

(2) 委員からの主な意見等は以下のとおり

【委員】

「工事全般の施工計画」については、「居抜き工事」よりも「居ながら工事」という表現の方がよい。

【委員】

「コンクリートの品質向上に関する提案」だとコンクリートそのものの品質を向上させるように取れる。工事に関することなので、「コンクリート工事の品質向上」にしてはどうか。

【事務局】

意見を踏まえて、修正する。

10 その他

(1) 発注スケジュール等について説明

(2) 委員からの意見等はなし